

単元 (教材)	だいじなところに 気をつけて読もう サンゴの海の生きものたち 話す・聞く 1 書くこと 4 読むこと 6 (11 時間) 10 月			
目 標	- 海の中の生き物の様子を想像しながら読み、説明の順序に気をつけて、生き物のかかわり方について大体の内容を読むことができるようにする。 - 海の生き物の様子やかかわり方について調べ、紹介文に書くことができるようにする。			
単元目標 と生き方 探究教育 との関連	※海の生き物がお互いに関わり合いながら生きていることを本文から読みとり、協力することや助け合うことのすばらしさに気づいている。(人間関係形成能力) ※自分の集団の中での役割を理解しながら、相手意識をもって「生きものカード」を書いている。(社会参画能力) ※「生きものカード」を書く際に、読みたい本をみつけ、生き物を選んだり、友だちや先生のアドバイスを生かしたりしながら、主体的に決定し、「生きものカード」にかいている。(意思決定能力)			
単元の 評価規準	- 国語への関心・意欲・態度 - 書く能力 - 読む能力 - 言語についての知識・理解・技能 - 大事なところに気をつけて読もうとしている。 - 知りたいことを調べたり、探したりして分かったことを紹介文に書いている。 - 説明の順序に気をつけて大体の内容を読んでいる。 - 片仮名を読んだり書いたりして、文や文章の中で使っている。			
時	学習活動(●中心活動 ・活動内容)	○支援 *留意点	評価の視点 (評価方法) ※準備物 →評価と関連している 生き方探究教育の力	
1	●海の生き物について話し合っってイメージを広げ、内容を知る。 ●海の生き物について夏休みの経験などから発見したことを話し合う。 ●メモにとりながら、ブックトークを聞いたり、ビデオを鑑賞したりする。 ●メモしたことの中から、特に自分が感動したことを発表する。 ●範読を聞き、登場する生き物を知る。	○サンゴの海に関する図書を3~4冊紹介することにより、本文やサンゴの海に興味をもつことができるようにする。 ○サンゴの海のビデオを視聴することにより、登場する生き物のイメージを広げることができるようにする。	※「サンゴの海」についてのビデオや本 関 ブックトークやビデオで知ったことをメモしながら、サンゴの海について想像をふくらませようとしている。 (観察・ノート・発言) →情報活用能力	
2	●全文を読んで、読みのめあてをもつ。 ●グループで話し合って、特に不思議だったところ、わからなかったところ、おもしろかったところを場面ごとに選ぶ。 ●「生き物同士のかかわりを調べて生き物図鑑をつくる」という単元の出口を知る。	*グループになって、互いに相談しながら読みのめあてを考えるようにする。 ○大事なところに印をつけながら読み合うことにより、生き物同士の関わり合いを読み取りやすくすることができるようにする。	読 全文を読み進めて、読みのめあてを選択・決定している。 (観察、ノート) →意思決定能力	
3	●読みのめあてを基に、イソギンチャクとクマノミそれぞれの体の仕組みと関わり合いを読み取る。 ●グループに分かれて役割を決め、文章に合わせて体を動かしたりして音読し合う方法を知る。	*生き物の関わり合いを読みとるために、役割読みをどのように工夫すればいいか例示するようにする。 ○グループでの役割を明らかにすることにより、協力することや役割を果たすことの大切さに気づくことができるようにする。	読 役割読みを通して、登場人物の関わり合いに気をつけて読んでいる。(観察・ノート) →社会参画能力	
4	●読みのめあてを基に、イソギンチャクとクマノミの関わり合いを、表や絵で表す。 ●グループで話し合い、イソギンチャクとクマノミの秘密を見つけて付箋紙に書く。 ●秘密を書いた付箋紙を基に、クラスで話し合って二つの生き物の関わり合いを表や絵でまとめる。 ●生きものの秘密を自分のノートにまとめる。	○イソギンチャクとクマノミの体の仕組みやお互いの関わり合いを表や絵でまとめることにより、関わり合いをわかりやすく理解することができるようにする。 *板書を写すだけでなく、色を塗ったり文字を強調したりするなどの工夫をするようにする。	読 登場人物の関わり合いに気をつけて読みながら、情報を抜き出し、表にまとめている。 (観察・ノート) →情報活用能力	
5	●ホンソメワケベラと大きな魚たちとの関わり合いについて読みとる。 ●教科書の文が、どちらの生き物のことを表しているのか考えながら役割読みをする。 ●前時を想起し、役割読みをしながら、本文を読みとり、グループで話し合って生きものの	*4 時間目に表を作成した体験を想起するようにする。 ○前時に作成した表を提示して確認することにより、児童が類推して主体的に表の作成に取り組むことができるようにする。 ○グループで話し合ってホンソメワケベラと大き	読 登場人物の関わり合いに気をつけて本文を読み進めながら、情報を抜き出して表にまとめている。(観察・ノート) →情報活用能力	

	秘密を付箋紙にまとめていく。 ・ <u>秘密を書いた付箋紙を基に、二つの生きものの関わり合いを表や絵でまとめる。</u>	な魚たちの秘密を付箋紙に書いていくことにより、二つの生き物の秘密を意識しながら意欲的に活動できるようにする。	
6	●イソギンチャクとクマノミ、ホンソメワケベラと大きな魚たちとの関わり合いについてまとめる。 ・海の生き物の関わり合いについて考えたことを交流し合う。 ・他の動物の関わり合いについて考えたり、指導者の話を聞いたりする。 ・ <u>自分と周りの人との関わり合いについて考え、助け合いながら生きている場面を考え、ノートに書く。</u>	＊4, 5 時間目に作成した関わり合いや生き物の秘密を整理した表を参照するようにする。 ＊指導者は机間指導を通して児童が書いている内容をおよそ理解し、次の学習場面でよい例として指名できるようにする。 ○生き物がお互いに助け合いながら生きている姿に感動する気持ちを大切にすることにより、 <u>自分と周りの人との関わり合いに置き換えて考えることができるようにする。</u>	④ <u>自分と周りの人との関わり合いについて考え、</u> 作文に表している。(作文) →人間関係形成能力
7	●生き物図鑑にのせたい海の生き物を決定し、読み物資料を読み進め、大切なところをメモに取る。 ・ <u>読んでもらうという相手意識をもって書く内容を考える。</u> ・図鑑のイメージを話し合い、どのような内容にすればいいか考える。 ・図鑑としてどんな項目を書くかを話し合いで決定し、統一する。 ・ <u>なぜその生き物を選んだのか、その根拠を振り返りカードに書く。</u>	＊図書室にある生き物に関する本を教室の後ろに置いておき、日常読書として活用できるようにする。 ○自分の調べる対象を決められない児童には、個別に相談にのることにより、対象を絞ることができるようにする。 ○実際の図鑑の一ページをテレビに提示することにより、図鑑に描かれている項目を参考にしながら、自分たちの図鑑にのせる項目について考えることができるようにする。	④ <u>図鑑に載せる生き物を、根拠を明らかにしながら決定している。</u> (ノート・カード) →意思決定能力
8	●生き物について読みとったことを紹介文にまとめ「生きものカード」に書く。 ・ <u>「学校みんなが楽しめるような図鑑をつくらせてくれたら、理科室の前に展示したい。」というオファーがあることを知る。</u> ・読み手を意識して、どんなことに気をつけて図鑑を書いたらいいか話し合う。	＊決まった項目を基に、「生きもの図かん」の様式枠を用意するようにする。 ○ <u>生き物図鑑をつくる上で、担任外の先生からオファーが来ていることを知らせることにより、生き物図鑑をつくる意欲を高めることができるようにする。</u>	④ <u>自分たちの役割を意識しながら、</u> どのようなことに気をつけて図鑑を作成したらよいかを話し合っている。(観察・発言) →社会参画能力
9 ・ 10	●生き物について分かったことを絵や紹介文で表し、「生きもの図かん」としてクラスでまとめる。 ・ <u>読み手を意識してどのようなことを工夫したのか、がんばりカードに記入する。</u> ●作成した「生きものカード」を他の先生や友だちに見てもらい、わかりづらいところや足りないところなどのアドバイスをもらう。 ・ <u>アドバイスを生かして修正・加筆する。</u>	○グループで、できたカードを紹介し合うことにより、 <u>読み手を意識したよりよいものをめざそうとすることができるようにする。</u> ○外部評価を受けることにより、自分の役割を再認識しながらカードづくりに取り組むことができるようにする。	④ 片仮名で書く語を文章の中で使っている。(生きものカードの下書き) ④ ペアで助言し合いながら、「生きものカード」に修正・加筆している。(カード・観察) →人間関係形成能力
11	●作成した「生きもの図かん」をどうやったらたくさんの人に読んでもらえるかを話し合う。 ・ <u>「生きもの図かん」を学校のたくさんの人たちに読んでもらうために、宣伝方法や工夫について考える。</u> ・ <u>たくさんの人に読んでもらうための工夫について考え、よいアイデアを実行する。</u>	＊どんなふうに図鑑を提示すればいいかを話し合い、「たくさんの人に読んでもらうための工夫」について考えるようにする。 ○ <u>相手意識をもたせることにより、より主体的な活動にすることができるようにする。</u>	④ <u>読む人の立場に立って、「生きもの図かん」を紹介する方法を話し合っている。</u> (観察・発言) →人間関係形成能力
			④ <u>単元を振り返り、自分の学習への理解や困り、友だちの良さを見つけようとしている。</u> (カード) →自己理解・将来設計能力

学習指導案

第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」 (1時間目/全11時間)

教材名「サンゴの海の生きものたち」話す・聞く2 書くこと4 読むこと4

本時の目標

○ブックトークやビデオで知ったことをメモしながら、サンゴの海について想像をふくらまそうとする。＜関心・意欲・態度＞

→情報活用能力

本時の展開

学習 目標	「サンゴの海のイメージをふくらまそう。」		
学習 展開	学習活動（発問）	○支援 ＊留意点 相相談活動	評価の視点（評価方法） ※準備物
課題設定	- 今日から始まる学習の単元の流れを提示する。 みんな、サンゴがひろがる海って見たことありますか。今から写真や映像を見て、イメージをふくらませましょう。 - 本時の学習の流れを知る。 がんばりカードに、この時間にがんばりたいことを書きましょう。 - めあてを発表する。	相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 ＊がんばることを発表し、目標を意識するようにする。	※がんばりカード ※ブックトークのための本 ※ビデオ ※提示用の写真
（課題解決）	先生が今からいくつかの本を紹介します。初めて知ったことや感想をメモにとりましょう。 - メモにとりながら、ブックトークを聞いたり、ビデオを鑑賞したりする。 - ビデオを見て同じようにメモをとりましょう。 - メモをとりながら、ビデオを見る。	○サンゴの海にもぐる人の話に関する図書を3～4冊紹介することにより、本文やサンゴの海に興味をもつことができるようにする。 ○サンゴの海のビデオを視聴することにより、登場する生き物のイメージを広げることができるようにする。	関ブックトークやビデオで知ったことをメモしながら、サンゴの海について想像をふくらまそうとしている。 (観察・ノート・発言) 【情報活用能力】 メディア機器やブックトークを通して得た情報をメモにとり、今後の自分の学習計画に生かそうとしている。
課題解決（クラス）	メモしたことから、感想を発表しましょう。 - メモしたことの中から、特に自分が感動したことを発表する。 先生が教科書を読むので、出てくる生き物に線を引きながら聞きましょう。 - 教科書の範読を聞き、登場する生き物を知る。 - 形式段落を知り、段落ごとに番号を打つ。	＊メモは、簡単な単語だけを書くようにするようにする。 ＊本文の中に出てくる生き物の横に線を引きながら範読を聞くようにする。	
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 - がんばりカードに、この時間でわかったことやがんばったこと、困ったことを書く。 - 次の時間にがんばりたいことを書きましょう。 - 次の時間にがんばりたいことを書く。 - がんばりカードを提出する。	○学習の振り返りをするにより、その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時にがんばりたいことを考えたりする。	※がんばりカード

学習指導案

第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」 (2時間目/全11時間)

教材名「サンゴの海の生きものたち」話す・聞く2 書くこと4 読むこと4

本時の目標

○全文を読み進めて、読みのめあてを選択・決定することができるようにする。＜読む能力＞ →意思決定能力

本時の展開

学習 目標	「読みのめあてを考えよう。」		
学習 展開	学習活動（発問）	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点（評価方法） ※準備物
課題設定	今日は、教科書の文を読んで、読みのめあてをかんがえましょう。 - 本時の学習の流れを知る。 不思議だな、面白いなと思ったことが、これから学習を進めていくときの読みのめあてになります。 - がんばりカードに「この時間にがんばりたいこと」を書く。	相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *がんばることを発表し、目標を意識するようにする。	※がんばりカード
課題解決（グループ）	班の中で、段落ごとに読み合ひましょう。 聞きながら、しるしをつけましょう。 「なんでだろう、どういう意味だろうと不思議に思ったところ」を㊷、「おもしろいな、感じたところ」を㊸として、教科書に印をつける。 - グループで話し合っ、特に不思議だったところ、おもしろかったところを場面ごとに選ぶ。	*グループになって、互いに相談しながら読みのめあてを考えるようにする。 ○大事なところに印をつけながら読み合うことにより、生き物同士の関わり合いを読み取ることができるようにする。 *机間指導をしながら、児童がどこに印をつけているのか把握するようにする。	説全文を読み進めて、読みのめあてを選択・決定している。（観察、ノート） 
課題解決（クラス）	班の中で出てきた、「不思議だな、面白いなと感じたところ」を発表しましょう。 - グループで話し合われたことを発表する。 - 出てきた意見を整理し、クラスの読みのめあてとして決定する。 「生き物図鑑をつくる」という単元の出口を知る。	○読みのめあてを明らかにすることにより、めあてを意識しながら音読することができるようにする。 ○単元の出口を明らかにすることにより、学習の見通しを意識し、主体的に学習に取り組むことができるようにする。	【意思決定能力】 グループで相談して、出てきた意見の中から読みのめあてを選択し、発表している。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 - がんばりカードに、この時間でわかったことやがんばったこと、困ったことを書く。 次の時間にがんばりたいことを書きましょう。 - 次の時間にがんばりたいことを書く。 - がんばりカードを提出する。	○学習の振り返りをするにより、その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時にがんばりたいことを考えたりする。	※がんばりカード

学習指導案

第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」 (3 時間目/全 11 時間)

教材名「サンゴの海の生きものたち」話す・聞く 2 書くこと 4 読むこと 4

本時の目標

○役割読みを通して、登場人物の関わり合いに気をつけて読むことができるようにする。＜読む能力＞ →社会参画能力

本時の展開

学習 目標	「イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて知ろう。」		
学習 展開	学習活動 (発問)	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	今日は、イソギンチャクとクマノミの関わり合いについて知しましょう。 ・本時の学習の流れを確認する。 ・がんばりカードに「この時間にがんばりたいこと」を記入する。	相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *がんばることを発表し、目標を意識するようにする。	※がんばりカード
グ課題 ー解決 プ	班の中で役割を決めて、工夫して音読しながら、文に書かれていることを正しく読みとりましよう。 ・グループに分かれて役割を決め、文章に合わせて体を動かしたり役割読みをしたりして音読し合う方法を知る。	*生き物の関わり合いを読みとるのに役割読みをどのように工夫すればいいか例示するようにする。 *文章がどちらの生き物のことなのかをグループの中でよく話し合うようにする。 ○グループでの役割を明らかにすることにより、協力することや役割を果たすことの大切さに気づくことができるようにする。	※教科書の写真の拡大写真 説役割読みを通して、登場人物の関わり合いに気をつけて読んでいる。 (観察・ノート)
(ク ラ ス)課題 解決	前に出て音読したいグループはありますか。 ・前に出て役割読みを実演し、工夫したところを発表する。 ・発表のよかったところを見つけて発表する。 ・次の場面でも、同じように役割読みをすることを知る。	*あらかじめ、各グループでどのような工夫がされていたのか机間指導を通して把握するようにする。 ○発表したグループの良さを取り上げることにより、次の場面でも主体的に役割読みをする意欲をもつことができるようにする。	【社会参画能力】 グループの中で役割を分担し、協力して読み進める中で、役割を果たすことや集団で活動することの良さを感じている。
振 り 返 り	今日の学習を振り返りましょう。 ・がんばりカードに、この時間でわかったことやがんばったこと、困ったことを書く。 次の時間にがんばりたいことを書きましよう。 ・次の時間にがんばりたいことを書く。 ・がんばりカードを提出する。	○学習の振り返りをするにより、その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時にがんばりたいことを考えたりする。	※がんばりカード

学習指導案

第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」 (4時間目/全11時間)

教材名「サンゴの海の生きものたち」話す・聞く2 書くこと4 読むこと4

本時の目標

○登場人物の関わり合いに気をつけて読みながら、情報を抜き出し、表にまとめるようにする。＜読む能力＞ →情報活用能力

本時の展開

学習 目標	「イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを、ひょうや絵でまとめよう。」		
学習 展開	学習活動 (発問)	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	イソギンチャクとクマノミの体の仕組みや関わり合 いを表や絵でまとめましょう。 ・本時の学習の流れを知る。 ・がんばりカードに「この時間にがんばりたいこと」 を書く。	相指導者と相談して本時の学習目標に向け てがんばりたいことを決定する。 *がんばることを発表し、目標を意識するよ うにする。	※がんばりカード
(課題 解決)	イソギンチャクとクマノミの秘密を付箋紙に書きま しょう。 ・イソギンチャクとクマノミの秘密を付箋紙に書く。 ・付箋紙に書いたことをペアで発表し合う。	○付箋紙に見つけた秘密を書くことにより、 自信を持って話し合いに参加することが できるようにする。	※教科書の写真の拡大写真 ※2色の付箋紙
課題 解決 (クラス)	付箋紙に書いたこと、表にまとめましょう。 ・秘密を書いた付箋紙を基に、クラスで話し合っ て二つの生き物の関わり合いを表や絵でまとめる。 ・クラスで話し合っ てつくった表を自分のノートにま とめる。 ・イソギンチャクとクマノミが助け合いながら生 きていることに気づく。	○教科書の写真の拡大したものをさし示し ながら説明することにより、本文をわかり やすく説明することができるようにする。 ○イソギンチャクとクマノミの体の仕組み や、お互いの関わり合いを表や絵でまとめ ることにより、関わり合いを理解すること ができるようにする。 *板書を写すだけでなく、色を塗ったり文字 を強調したりするなどの工夫をするよう にする。	読登場人物の関わり合 いに気をつけて読みな がら、情報を抜き出し、 表にまとめている。 (観察・ノート) 
振り 返し	今日の学習を振り返りましょう。 ・がんばりカードに、この時間でわかったことやが んばったこと、困ったことを書く。 次の時間にがんばりたいことを書きましょ う。 ・次の時間にがんばりたいことを書く。 ・がんばりカードを提出する。	○学習の振り返りをする ことにより、その時 間の自分の理解や困 りに気づくことがで きるようにする。 相友だちや指導者と 相談し、学習の目標 やがんばり、困りを 振り返ったり、次時 にがんばりたいこと を考えたりする。	【情報活用能力】 付箋紙を活用しな がら、生き物の関 わり合いを表や絵 でまとめている。 ※がんばりカード

学習指導案

第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」 (5 時間目/全 11 時間)

教材名「サンゴの海の生きものたち」話す・聞く 2 書くこと 4 読むこと 4

本時の目標

○登場人物の関わり合いに気をつけて本文を読み進めながら、情報を抜き出して表にまとめるようにする。＜読む能力＞ →情報活用能力

本時の展開

学習 目標	「ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかわり合いを知り、ひょうや絵でまとめよう。」		
学習 展開	学習活動（発問）	○支援 *留意点 ㊦相談活動	評価の視点（評価方法） ※準備物
課題 設定	ホンソメワケベラと大きな魚たちの関わり合いをグループで話し合い、表や絵でまとめましょう。 - 本時の学習の流れを知る。 - がんばりカードに「この時間にがんばりたいこと」を記入する。	㊦指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *がんばることを発表し、目標を意識するようにする。 *4 時間目に表を作成した体験を、想起するようにする。	※がんばりカード
課題 解決 （グループ）	今日は、自分たちの力で表を完成させましょう。 - 教科書の文が、どちらの生き物のことを表しているのか考えながら役割読みをする。 - 前時を想起し、役割読みをしながら、本文を読みとり、グループで話し合っ生きものの秘密を付箋紙にまとめていく。 - 付箋紙を基に、グループで話し合っ表を作成する。	○前時に作成した表を提示することにより、児童が類推して主体的に表の作成に取り組むことができるようにする。 *教科書の写真を参考にするようにする。 ○グループで話し合っホンソメワケベラと大きな魚たちの秘密を付箋紙に書いていくことにより、二つの生き物の秘密を意識しながら意欲的に表を作成することができるようにする。	※教科書の写真の拡大図 ㊦登場人物の関わり合いに気をつけて本文を読み進めながら、情報を抜き出して表にまとめている。（観察・ノート） 
（課題 解決）	クラスで一つの表を完成させましょう。 - グループで話し合っ作成した表を基に、クラスで話し合っ表を完成させる。 - ホンソメワケベラと大きな魚たちが助け合いながら生きていることを知る。	*教科書の写真や、児童の考えた表や絵を拡大して掲示し、指し示しながら説明するようにする。	【情報活用能力】 付箋紙を活用しながら、生き物の関わり合いを、表にまとめている。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 - がんばりカードに、この時間でわかったことやがんばったこと、困ったことを書く。 次の時間にがんばりたいことを書きましょう。 - 次の時間にがんばりたいことを書く。 - がんばりカードを提出する。	○学習の振り返りをするにより、その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。 ㊦友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時にがんばりたいことを考えたりする。	※がんばりカード

学習指導案

第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」 (6時間目/全11時間)

教材名「サンゴの海の生きものたち」話す・聞く2 書くこと4 読むこと4

本時の目標

○自分と周りの人との関わり合いについて考え、作文に表すようにする。＜書く能力＞ →人間関係形成能力

本時の展開

学習 目標	「生きもののかかわり合いについて考えよう。」		
学習 展開	学習活動 (発問)	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	生き物がどのように関わり合っているのか考えましょう。 ・本時の学習の流れを知る。 ・がんばりカードに「この時間にがんばりたいこと」を記入する。 生き物はお互いにどのようにかかわりながら生きているのでしょうか。 ・助け合いながら生きているということに気づく。	相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *がんばることを発表し、目標を意識するようにする。 *4, 5時間目に作成した関わり合いや生き物の秘密を整理した表を参照するようにする。	※がんばりカード
課題解決 (個別)	自分と周りの人が、どのような関わり合いの中で生きているのか考えてみましょう。 ・周りの人との関わり合いについて考えたり、指導者の話を聞いたりする。 自分と周りの人は同じように助け合いながら生きていると思います。自分はどんな体験がありますか。付箋紙に書いてみましょう。 ・自分と周りの人との関わり合いについて考え、助け合いながら生きている場面を考え、付箋紙に書く。	*わかりやすい例示として、指導者と児童との関わり合いについて紹介するようにする。 ○指導者が「周りの人と助け合って生きている例」として自分の体験談を話すことにより、児童が書く内容を理解することができるようにする。 *指導者は机間指導を通して児童が書いている内容をおよそ理解し、次の学習場面でよい例として指名できるようにする。	書自分と周りの人との関わり合いについて考え、作文に表している。(作文)
(個別) 課題解決 (クラス)	付箋紙に書いたことを元にして、原稿用紙に書きましょう。 ・付箋紙を元にして、原稿用紙に「自分周りの人との関わり合い」について作文を書く。 みんなの前で発表したい人はいますか。 聞くポイント ①誰との関わりか ②いつ感じたか ③これからどうしていきたいか	○生き物がお互いに助け合いながら生きている姿に感動する気持ちを大切にすることにより、自分と周りの人との関わり合いに置き換えて考えることができるようにする。 *原稿用紙に書く際には、例文や、活用した付箋紙を参照するようにする。 *事前に児童の作文の内容を一通り把握し、特に取り上げたい児童がいれば指名するようにする。	【人間関係形成能力】 自分が生活の中で、周りの人と関わり合いながら生きていることに気づいている。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・がんばりカードに、この時間でわかったことやがんばったこと、困ったことを書く。 次の時間にがんばりたいことを書きましょう。 ・次の時間にがんばりたいことを書く。 ・がんばりカードを提出する。	○学習の振り返りをするにより、その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。 *次の時間は、みんなに紹介したい生き物を決め、その生き物を紹介する生き物図鑑をつかっていくことを知らせるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時にがんばりたいことを考えたりする。	※がんばりカード

学習指導案

第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」 (7時間目/全11時間)

教材名「サンゴの海の生きものたち」話す・聞く2 書くこと4 読むこと4

本時の目標

○図鑑に載せる生き物を、根拠を明らかにしながら決定することができるようにする。(書く能力) →意思決定能力

本時の展開

学習 目標	「本を読んで、生きもの図かんにのせたい海の生きものをきめよう。」		
学習 展開	学習活動 (発問)	○支援 *留意点 ㊦相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	今日は生き物図鑑にのせたい生き物を決めましょう。 - 本時の学習の流れを知る。 - がんばりカードに「この時間にがんばりたいこと」を記入する。 生き物を決めたら、何をメモしたらいいかみんなで話し合いましょう。 - 図鑑のイメージをもって、どのような内容にすればいいか考える。	㊦指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。	※がんばりカード
課題解決 (クラス)	生き物図鑑には、どんなことを書いたらいいでしょう。 - 生き物図鑑に書く内容について発表する。(図鑑の内容例) - 生き物の名前 ・絵や図 - 住んでいるところ ・特徴 - 生き物とのかかわり ・大きさ - 食べるもの - みんなが関心を寄せそうなこと	○「生き物図鑑」にはどんな内容を書くのかを話し合うことにより、どんな観点で調べ、メモすればよいか理解することができるようにする。 *参考にできるように、図鑑を大型テレビに提示するようにする。	㊦図鑑に載せる生き物を、根拠を明らかにしながら決定している。(ノート・カード)
課題解決 (個別)	今から、自分がのせたい生き物を本や図鑑を見て決めましょう。 - 図書室や教室の図鑑を参考にしながら生き物を選択する。 - なぜその生き物に決めたのか、その根拠を振り返りカードに書く。	㊦自分が調べたい生き物が定まらない児童は、指導者と相談して決定していく。 *児童がどの生き物を選択しているかを把握し、調べる生き物が重ならないようにする。 *図書室にある生き物に関する本を教室の後ろに置いておき、日常読書として活用できるようにする。 *次時までには、決まった項目を基に、「生きものカード」の様式枠を用意するようにする。	【意思決定能力】 なぜその生き物を決定したのかという根拠を明らかにしながら生き物を決定している。 ※生き物の図鑑や書籍 ※図書室や図鑑の確保
振り返り	決めた生き物をがんばりカードに書きましょう。 - がんばりカードに、決まった生き物、その理由、困ったことを書く。 次の時間にがんばりたいことを書きましょう。 - 次の時間にがんばりたいことを書く。 - がんばりカードを提出する。	○学習の振り返りをする事により、その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。 *根拠をもって決められたかどうかを振り返りカードで見るようにする。 ㊦友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時にがんばりたいことを考えたりする。	※がんばりカード

学習指導案

第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」(8時間目/全11時間)

教材名「サンゴの海の生きものたち」話す・聞く2 書くこと4 読むこと4

本時の目標

○学校の中における自分たちの役割を意識しながら、どのようなことに気をつけて図鑑を作成したらよいかを話し合うようにする。

<話す・聞く> →社会参画能力

本時の展開

学習 目標	「生きものカードを、どんなことに気をつけて書いたらよいか考えよう。」		
学習 展開	学習活動 (発問)	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	生き物カードをどんなことに気をつけて書いたらよいか考えましょう。 ・本時の学習の流れを知る。 ・がんばりカードに「この時間にがんばりたいこと」を記入する。 初めに、○○先生がみんなにお願いがあると書いて来て下さっています。 ・「学校 みんなが楽しめるような図鑑をつくってくれたら、理科室の前に展示したい。」というオファーがあることを知る。	相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 ○担任外の先生に依頼されることにより、相手意識や責任感をもって図鑑づくりに取り組もうとすることができるようにする。	※がんばりカード ※「生きものカード」の枠 ※担任外の指導者と連携する。
(クラス・グループ) 課題解決	読み手を意識しながら、どのようなことに気をつけて図鑑を書いたらいいか考えましょう。まずは、グループで出し合ひましょう。 ・丁寧に書く。 ・漢字には振り仮名を振る。 ・絵を大きくする。 ・字を大きくする。 ・みんなが、へえと思うようなことを調べる。 みんなに発表してください。 ・クラスで話し合っ、書く内容を整理する。	○読み手を意識することにより、人に読まれる文章を書く上で気をつけることを考えることができるようにする。	※図鑑の一ページの拡大図 ⑧自分たちの役割を意識しながら、どのようなことに気をつけて図鑑を作成したらよいかを話し合っている。 (話し合う様子の観察・発言)
課題解決 (個別・グループ)	読む人のことをよく考えながら、メモしたことを基にして、生き物カードの下書きをしましょう。 ・生き物カードの下書きを書く。 できた下書きをグループの友だちに見せて、アドバイスをもらいましょう。 ・アドバイスを生かして修正を加える。 (アドバイス例) ・字の間違い ・丁寧さ ・色使い など	*決まった項目を基に、「生きものカード」の様式枠を用意するようにする。 ○グループで、下書きを読み合うことにより、読み手を意識したよりよいものをめざそうとすることができるようにする。 ○評価を受けることにより、自分たちの役割を再認識し、緊張感や意欲をもってカードづくりに取り組むことができるようにする。	【社会参画能力】 どのような図鑑が学校 みんなが楽しめる図鑑なのか考え、自分たちの役割を意識しながら、話し合ったり、生き物カードの下書きを書いたりしている。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・クラスで決めた観点・読み手を意識してどのようなことを工夫したのか、がんばりカードに記入する。	○学習の振り返りをするにより、その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時にがんばりたいことを考えたりする。	※がんばりカード

学習指導案

第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」 (9・10時間目/全11時間)

教材名「サンゴの海の生きものたち」話す・聞く2 書くこと4 読むこと4

本時の目標

○片仮名で書く語を文章の中で使うことができるようにする。＜言語＞

○ペアで助言をし合いながら、「生きものカード」に修正・加筆することができるようにする。＜書く能力＞ →人間関係形成能力

本時の展開

学習 目標	9時間目「生きものカードの下書きをしよう。」 10時間目「生きものカードをきれいにしあげよう。(せい書)」		
学習 展開	学習活動 (発問)	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	下書きを仕上げましょう。できた人は、先生に見てもらいましょう。 ・本時の学習の流れを知る。 ・がんばりカードに「この時間にがんばりたいこと」を記入する。	相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。	※がんばりカード 書片仮名で書く語を文章の中で使っている。 (生きものカードの下書き)
(ペア) 課題 解決	・下書きを仕上げる。 ・ペアでお互いに助言し合いながら、よりよいものに仕上げる。 先生に下書きを見せて、意見を聞きましょう。	*活動が進むたびに内容をチェックすることで、児童の活動を把握できるようにする。 ○ペアで、完成したカードを紹介し合うことにより、読み手を意識したよりよいものをめざそうとすることができるようにする。	書ペアで助言し合いながら、「生きものカード」に修正・加筆している。 (生きものカード)
課題 解決 (個別)	下書きができた人は、本番の紙にかきましょう。 ・本番の紙にかく。 先生や友だちに一度、見てもらいましょう。 ・最終チェックを受ける。 ※句読点が抜けていないか ※誤字・脱字はないか ※片仮名や漢字を意識しているか ・生き物図鑑を完成させる。	○読み手を意識することにより、人に読まれる文章を書く上で気をつけることを考えることができるようにする。 ○チェックを受けることにより、自分たちの役割を再認識し、緊張感や意欲をもってカードづくりに取り組むことができるようにする。	【人間関係形成能力】 よりよい図鑑にするために、アドバイスを生かしながら、生き物カードを仕上げている。
振り 返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・がんばりカードに、この時間でわかったことや困り、これからの生活で生かしたいこと書く。	○学習の振り返りをするにより、その時間の自分の理解や困りに気づくことができるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時にがんばりたいことを考えたりする。	※がんばりカード

学習指導案

第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」(11 時間目/全 11 時間)

教材名「サンゴの海の生き物たち」話す・聞く 2 書くこと 4 読むこと 4

本時の目標

○読む人の立場に立って、「生きもの図かん」を紹介する方法を話し合うようにする。＜話す・聞く＞ →人間関係形成能力

○単元を振り返り、自分の学習への理解や困り、友だちの良さを見つけようとする。＜関心・意欲・態度＞ →自己理解・将来設計能力

本時の展開

学習 目標	「たくさんの人に読んでもらえる方ほうを考えよう。」		
学習 展開	学習活動 (発問)	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	「生きもの図かん」が完成しました。どのような工夫をしたら、たくさんの人に読んでもらえるか考えましょう。 - 本時の学習の流れを知る。 - がんばりカードに「この時間にがんばりたいこと」を記入する。	相指導者と相談して本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。	※がんばりカード ※完成した生きもの図かん ⑧読む人の立場に立って、「生きもの図かん」を紹介する方法を話し合っている。(観察・発言)
課題 解決 (クラス)	「生きもの図かん」を学校のたくさんの人たちに読んでもらうために、宣伝方法や工夫について考える。 - どんな工夫ができるでしょうか。 - グループで、どんな工夫ができるか案を出す。 - クラスで、どんな工夫ができるかを考える。(案の例) ★児童集会で呼びかける。★ポスターをつくる。 ★意見箱をつくる。★給食放送で放送してもらう。 ★朝の時間にクラスを回る。 - たくさんの人に読んでもらうための工夫について考え、よいアイデアを実行する。 - もう一度自分のカードを振り返り、直せるところは直すようにする。	*どのように図鑑を展示すればいいかを話し合い、「たくさんの人に読んでもらうための工夫」について考えるようにする。 ○相手意識をもたせることにより、より主体的に活動することができるようにする。	【人間関係形成能力】 読み手の立場に立って、いき物図鑑がたくさんの人に読んでもらえる工夫を考えている。
振り返り	「サンゴの海の生きものたち」の学習を振り返りましょう。 - この勉強をしてみて、または、生きもの図かんをかいてみての感想を交流する。 - 単元を通しての感想を、がんばりカードに記入する。 - がんばりカードを見ながら、この単元をふり返って、自分にどんな成長があったかを考えましょう。 - 自分の成長や、がんばりカードを見返した感想などを交流する。 - がんばりカードを提出する。	相単元を通してわからないところなどの困りがあった場合は、指導者や友だちと相談し、自分のできる方法で困りを解消できるようにする。 *単元を通して以下のことを振り返り、次の学習に生かすようにする。 - 学習の目標に対して - 自分のがんばりや困り - 単元を通しての自分の成長	※がんばりカード ⑧単元を振り返り、自分の学習への理解や困り、友だちの良さを見つけようとしている。(カードへの記述) 【自己理解・将来設計能力】 単元を通しての自分のがんばりや困り、友だちの良さなどに気づくことで、次の単元の目標設定や意欲につなげることができる。

学習の目標		「サンゴの海のイメージをふくらまそう。」	
出てきた生きものは？		●ビデオをみて	
イソギンチャク クマノミ（二モ） ホンソメワケベラ 大きな魚 サンゴ？ 小さな魚？		●本を聞いて	
		「すごいな。」とかんどうしたことを、メモにとりながら、聞きましょう。	
		サンゴの海のイメージをふくらまそう。	
		六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 もとかわ たつお	

学習の目標		「読みのめあてを考えよう。」	
③「おもしろいな。」		②「なんでだろう。どういういみだろう。」	
		(回し読みのルール)	
		読みのめあてを考えよう。	
		グループで、回し読みをしましょう。	
		六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 もとかわ たつお	

学習の目標		「イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて知ろう。」	
③⑥だんらくを読みましょう。		(役割読みのルール)	
・読む人 二〜三人 ・イソギンチャク 一人 ・クマノミ 一人 ・大きな魚 一人 ・小さな魚 一人		イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて知ろう。	
		グループで、やくわり読みをしましょう。	
		六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 もとかわ たつお	

学習の目標「イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを、ひょうや絵でまとめよう。」

イソギンチャク

●大きい

●細長いたくさんの

●よく手

●しよく手には、どく

●はりがある。

●小さなどうぶつをつ

●かまえて食べている

●大きな魚は、イソギ

●チャクをこわがって

●近づかない。

●クマノミをまもって

●いる。

●イソギンチャクを食

●べにくる小さな魚が

●いる。

●クマノミがおいはら

●つてくれる。

クマノミ

●きれいなオレンジ色

●の魚。

●さされるとたいへん

●体が、ねばねばしたえ

●きでおおわれている。

●だから、さされない。

●イソギンチャクの中

●にいればあんぜん。

●小さな魚が近づいて

●くると、カチカチと音

●を立てて、おいはらっ

●てしまう。

●イソギンチャクをま

●もっている。

六 だいじなところに気をつけて読もう

「サンゴの海の生きものたち」

もとかわ たつお

イソギンチャクとクマノミのかかわり合い

を、ひょうや絵でまとめよう。

クラスで話し合ってひょうをつくりましょ

う。

たがいにまもり合っている。

学習の目標「ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかわり合いを知り、ひょうや絵でまとめよう。」

ホンソメワケベラ

●美しい魚。

●明るい青色の体に、

●からしっぽにかけて

●黒いすじが一本ある

●体の長さは、十二セ

●チメートルほど。

●小さい魚。

●大きな魚の口の中

●入っていく。

●大きな魚には食べら

●れない。

●そうじ魚とよばれて

●いる。

●ただ、そうじをして

●るわけではない。

●そうじをしようとつた

●虫が、食べものにな

●る。

大きな魚たち

●大きな魚たちは、体や

●口の中についた虫を、

●ホンソメワケベラが

●とって、きれいにそう

●じしてくれるのを知

●っている。

●ホンソメワケベラを

●食べない。

六 だいじなところに気をつけて読もう

「サンゴの海の生きものたち」

もとかわ たつお

ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかわ

り合いを知り、ひょうや絵でまとめよう。

クラスで話し合ってひょうをつくりましょ

う。

⑦⑧⑨のだんらくを読みましよう。

たくさん生きものたちが、さまざまにか

かわり合っている。

※6 時間目は板書計画なし。

学習の目標「本を読んで、生きもの図かんにのせたい海の生きものをきめよう。」

●名前

●大きさ

●食べるもの

●どこにすんでいるか

●とくちょう

●たすけあっていること

●絵や図

書いたらいいと思うこと。

六 だいじなところに気をつけて読もう

「サンゴの海の生きものたち」

もとかわ たつお

本を読んで、生きもの図かんにのせたい海の

生きものをきめよう。

りゆうを考えながら、えらびましよう。

(カードの例)

学習の目標 「生きものカードを、どんなことに気をつけて書いたらよいか考えよう。」	
	六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 もとかわ たつお みんなが楽しめるずかんは、どんなずかんか 考えよう。 どんなことに気をつけてずかんをkaitara いいかな。 ● ていねいにかけている。 ● 絵がきれいな方がいい。 ● みんなが「へえ」とかんしんするようなこ と。 ● くわしく書かれてる方がいい。

※9, 10 時間目は板書計画なし。

学習の目標 「たくさんの人に読んでもらえる方ほうを考えよう。」	
	六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 もとかわ たつお たくさんの人に読んでもらえる方ほうを考 えよう。 読んでもくれる人の気もちになって考えよう。 ● じどうしゅう会でしようかいしてもらう。 ● きゅう食ほうそうで、ほうそうしてもら う。 ● ポスターをつくる。 ● 朝の時間に、クラスをまわる。 ● かんそうを書けるノートをよいする。